

平成 21 年度モニタリング調査実施項目

ニホンジカ保護管理計画に基づき、モニタリングを実施する。平成 21 年度に実施するモニタリング項目は以下のとおりである。

表1 モニタリング調査項目(平成 21 年度実施項目に網掛け)

	調査対象地区	調査項目		調査頻度	
植生 状況 調査	緊急対策地区	植生への影響の把握	上層 (1.3m以上) ・種別被度及び群度 等	上層：1回/5年	
			下層 (1.3m未満) ・維管束植物についての種名、 被度、食痕の有無	下層：毎年	
	重点監視地区	植生への影響の把握	・スズタケ生育地のテングス病の 有無	上層：1回/5年 (H24予定)	
			※調査区は防鹿柵の内外を含め て設置し、効果を検討する。 ・緊急対策地区では、スズタケの 稈高や実生の種名、高さ、食痕 の有無についても調査する。	下層：毎年	
	周辺部	植生への影響の把握		上層：1回/5年 (H22予定)	
				下層：1回/5年 (H22予定)	
生息 状況 調査	緊急対策地区	生息密度の把握	糞粒法	毎年	
			区画法	1回/5年 (H23予定)	
			ルートセンサス	毎年	
	重点監視地区	生息密度の把握	行動域調査	テレメトリー法 (GPS 発信機)	毎年
			捕獲個体調査	捕獲個体の繁殖および栄養状 態に関するデータを収集する。	毎年
			糞粒法	毎年	
	重点監視地区	生息密度の把握	ルートセンサス	毎年	
			捕獲個体調査	捕獲個体の繁殖および栄養状 態に関するデータを収集する。	毎年
	周辺部	生息密度の把握	糞粒法	1回/5年 (H22予定)	